

平成28年度行政事業レビューシート (法務省)

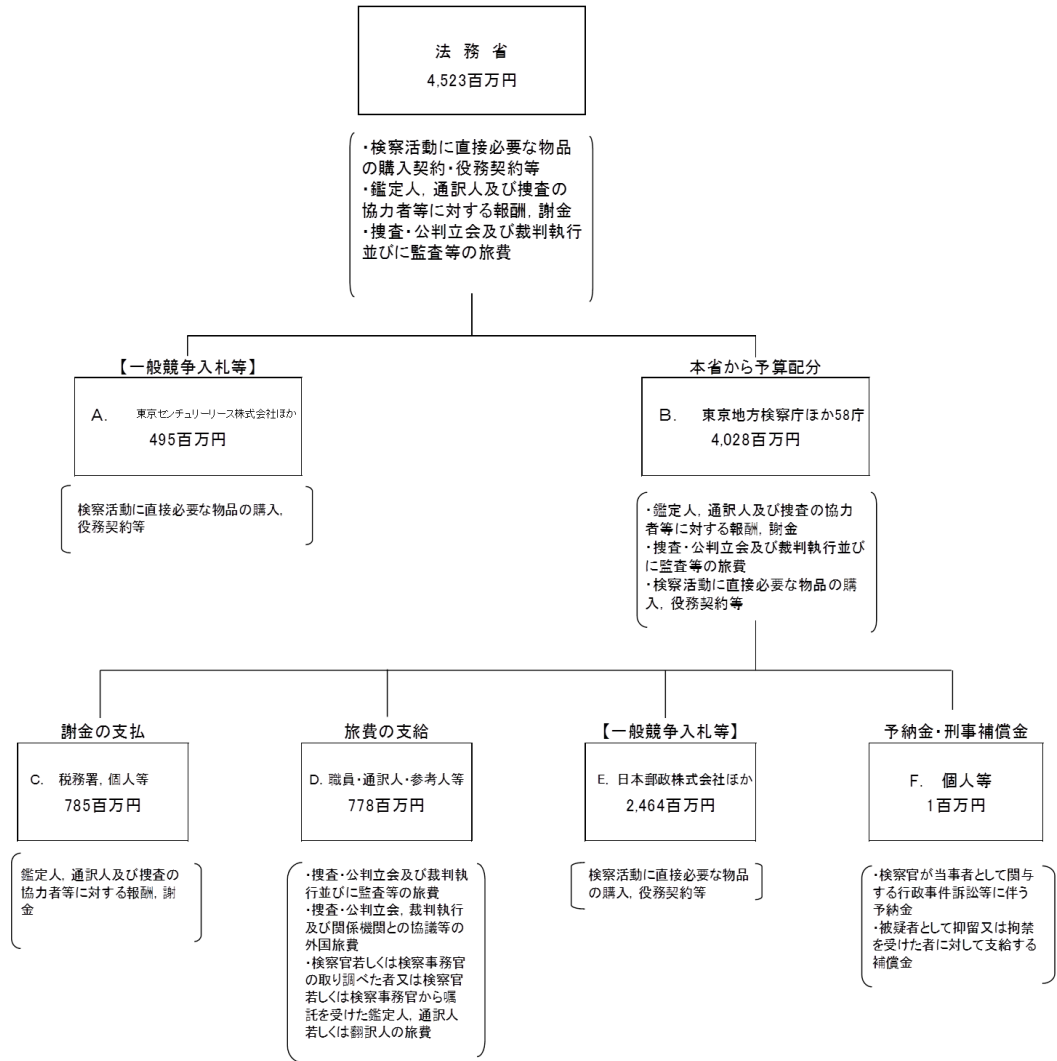
事業名	検察事務処理への対応			担当部局庁	刑事局		作成責任者			
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		総務課長 森本 宏			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	刑法, 刑事訴訟法			関係する計画、通知等	「世界一安全な日本」創造戦略 (平成25年12月閣議決定)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国における治安情勢については、依然として、各種犯罪が継続している状況にあることから、早期に犯人を検挙し、捜査を通じて事案の真相を解明した上で迅速かつ的確な処分・裁判を行い、特に悪質・重大な事犯については厳正な科刑を実現し、刑を執行するという、一連の刑事司法システムを適正に機能させることにより治安の回復を図ることを目的としている。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	迅速かつ的確な捜査とそれに基づく起訴・不起訴の適正な判断、迅速かつ充実した公判遂行と適正な科刑の実現、警察等の関係機関との連絡調整、刑の執行の指揮・監督等の役割を適正に実施するために直接必要となる経費を確保することにより、検察権の適正な行使を実現する。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		当初予算	4,571	4,812	4,865	4,906	4,910			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	4,571	4,812	4,865	4,906	4,910				
	執行額	4,345	4,410	4,523						
執行率(%)	95%	92%	93%							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-	
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック										
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績								
	本事業は、捜査を通じて事案の真相を解明した上で迅速かつ的確な処分・裁判を行い、厳正な科刑の実現、刑の執行等により治安の回復を図ることを目的としていることなどから、定量的な成果目標(いつまでにどの程度といった目標)を設定することが困難である。	迅速かつ的確な捜査・公判処理を行い、検察権の適正な行使の実現を図る。各年度において、迅速かつ的確な捜査・公判処理を行い、検察権の適正な行使の実現を図った。								
	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	適正な捜査・公判処理の実施	事件の既済率(既済人員数/(既済人員数+未済人員数))	実績	%	97.4	97.5	97.5	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	事件の受理件数	活動実績	件	1,549,534	1,447,916	1,390,941	-			
		当初見込み	-	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	3,252(円/件) (X)予算執行額 4,522,738,000円 (Y)事件受理件数 1,390,941件	単位当たりコスト	円 / 件	2,804	3,046	3,252	-			
		計算式	X / Y	4,344,753,000 / 1,549,534	4,409,860,000 / 1,447,916	4,522,738,000 / 1,390,941	-			
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	(項)検察費諸謝金	813	816	謝金の実績反映による増						
	検察旅費	579	578	旅費の実績反映による減						
	参考人等旅費	269	269							
	検察業務庁費	3,243	3,245	自動車リース料等の増						
	予納金	1	1							
	刑事補償金	1	1							
計	4,906	4,910								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策									
		施策									
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
				実績値	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
		アクション・プログラムとの関係	改革項目 (第一階層) KPI	分野:	-						
				KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
						成果実績	-	-	-	-	-
	目標値				-	-	-	-	-		
	達成度			%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	刑事事件の捜査・公判、刑の執行の指揮・監督等の検察権の行使は、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○		
		一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	一般競争入札を原則として、競争性が確保されている。 一者応札となったものについては、入札実施について、業者への連絡を積極的に行うなど、一者応札解消に向けた取組を行ったほか、随意契約になったものについても、著作権が契約の相手方にあること等が理由となっており、問題はない。	
		競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	コスト削減については、計画案の策定から事業の実施における各段階まで検討を行っており、妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は、事業目的に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	旅費マニュアルの適切な運用により、経費の節減に努めている。	
	事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	比較検討をした上、事業を実施している。		
活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された捜査関連機器は十分活用されている。		
関連 事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・ 改善 結果	点検結果	旅費については、ICカードを積極的に活用するなど、旅費マニュアルを適切に運用することにより、執行額の削減が図られている。また、各庁において調達している物品等についても、一括調達を実施し、積極的に競争入札を実施するなどして、執行額の削減が図られている。			
	改善の方向性	引き続き、旅費マニュアルに沿った適切な執行や、市場動向・過去の調達実績や類似調達事案等を踏まえた物品調達を励行し、更なる経費の節減に努めるとともに、執行実績等を踏まえ、平成29年度予算に反映させることとする。			
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外である。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の 一部改善	各経費について執行実績を踏まえた見直しを行い、経費の削減を図るべきである。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	捜査・公判処理機器の賃貸借契約等について、執行実績を踏まえた見直しを行い、その結果を適切に予算に反映して経費の削減を図った。(▲116百万円)				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0037	平成23年度	0034	平成24年度	0036
平成25年度	0013	平成26年度	0012	平成27年度	0012

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.一般競争入札等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京センチュリーリース株式会社	6010401015821	捜査・公判処理用パソコン賃借料	230	総合評価入札	5	76%	-
2	株式会社大塚商会	1010001012983	ライセンス購入経費	107	一般競争入札	4	98.4%	-
3	株式会社ゼンリン	4011101041151	地図システム利用料	63	随意契約 (その他)	-	95.5%	-
4	株式会社エル・アイシー	6010401066253	法律・文献情報検索データベース利用料	53	一般競争入札	1	98.9%	-
5	NECネクサソリューションズ株式会社	7010401022924	検察地図システム用Webサーバ更新整備	24	一般競争入札	3	50%	-
6	日本電気株式会社	7010401022916	物品購入(ウイルス対策ソフトウェア)	6	一般競争入札	3	99.4%	-
7	第一法規株式会社	7010401017486	物品購入(Web版現行法規)	6	随意契約 (その他)	-	100%	-
8	日経メディアマーケティング株式会社	7010001025724	情報サービス利用料	4	随意契約 (その他)	-	100%	-
9	国際電子株式会社	3010001043119	ライセンス購入経費	0.6	随意契約 (少額)	-	-	-
10	AOSリーガルテック株式会社	8010401100258	ライセンス購入経費	0.4	随意契約 (少額)	-	-	-

B.本省から予算配分

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京地方検察庁	6000012140010	検察事務処理対応	683	-	-	-	-
2	大阪地方検察庁	3000012140021	検察事務処理対応	268	-	-	-	-
3	名古屋地方検察庁	6000012140027	検察事務処理対応	195	-	-	-	-
4	横浜地方検察庁	5000012140011	検察事務処理対応	187	-	-	-	-
5	千葉地方検察庁	3000012140013	検察事務処理対応	170	-	-	-	-
6	さいたま地方検察庁	4000012140012	検察事務処理対応	158	-	-	-	-
7	福岡地方検察庁	3000012140038	検察事務処理対応	151	-	-	-	-
8	神戸地方検察庁	1000012140023	検察事務処理対応	150	-	-	-	-
9	札幌地方検察庁	5000012140052	検察事務処理対応	124	-	-	-	-
10	静岡地方検察庁	8000012140017	検察事務処理対応	90	-	-	-	-

C.謝金の支払

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	税務署	-	謝金に対する源泉徴収	38	-	-	-	-
2	個人A	-	鑑定謝金	9	-	-	-	-
3	個人B	-	鑑定謝金	6	-	-	-	-
4	個人C	-	鑑定謝金	5	-	-	-	-
5	個人D	-	鑑定謝金	5	-	-	-	-
6	個人E	-	鑑定謝金	5	-	-	-	-
7	個人F	-	鑑定謝金	4	-	-	-	-
8	個人G	-	鑑定謝金	4	-	-	-	-
9	個人H	-	鑑定謝金	4	-	-	-	-
10	個人I	-	鑑定謝金	4	-	-	-	-

D.旅費の支給

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	税務署	-	参考人等旅費に対する源泉徴収	17	-	-	-	-
2	名鉄観光サービス株式会社	4180001033060	旅費	10	-	-	-	-
3	職員A	-	旅費	1	-	-	-	-
4	職員B	-	旅費	1	-	-	-	-
5	職員C	-	旅費	1	-	-	-	-
6	職員D	-	旅費	0.9	-	-	-	-
7	職員E	-	旅費	0.9	-	-	-	-
8	職員F	-	旅費	0.9	-	-	-	-
9	職員G	-	旅費	0.9	-	-	-	-
10	職員H	-	旅費	0.8	-	-	-	-

E.一般競争入札等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本郵政株式会社	5010001112697	後納郵便料金	236	随意契約 (その他)	-	100%	-
2	株式会社F-Power	2010701022133	電気料	92	一般競争入札	4	86.4%	-
3	東日本電信電話株式会社	8011101028104	電話料	79	随意契約 (その他)	-	100%	-
4	株式会社NTT東日本	1370001007295	電話料	75	随意契約 (その他)	-	100%	-
5	コニカミノルタビジネ スソリューションズ株式 会社	2010001043648	役務(複写機保守)	33	随意契約 (その他)	-	100%	-
6	国立大学法人 東京 大学	5010005007398	鑑定料	30	-	-	-	-
7	東芝情報機器株式 会社	8010601034867	物品購入(パソコン購入)	22	一般競争入札	5	61.9%	-
8	株式会社ぎょうせい	1010001100425	追録	20	随意契約 (その他)	-	100%	-
9	有限会社太陽商工	3180002009795	物品購入(トナーカートリ ジ等)	18	一般競争入札	4	73.8%	-
10	医療法人社団 和恒 会	8240005006143	鑑定料	18	-	-	-	-

F.予納金・刑事補償金

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	刑事補償金	0.3	-	-	-	-
2	有限会社法務弘済	2010002014482	予納金	0.1	-	-	-	-
3	個人B	-	刑事補償金	0.1	-	-	-	-
4	個人C	-	刑事補償金	0.1	-	-	-	-
5	個人D	-	刑事補償金	0.1	-	-	-	-
6	個人E	-	刑事補償金	0.1	-	-	-	-
7	個人F	-	刑事補償金	0.1	-	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	